

# 特集「減容化施設の役割と稼働状況」 P3

復興を歩む vol.2 P6	HOPES ホープス つくってたべよう こころのほけっと P17
特集 「飯館村デジタルアーカイブ開設」 P8	いいたて便利 男だけの料理教室ほか P18
職員採用試験のお知らせ P10	つながるアルバム P20
村から課から係から 教育のページ いいたてっ子運動会ほか P11	皆さんの声をお聞かせください P22
考えてみっぺ、村の学校 「自己肯定感」について P13	いいたて歳時記 ひとのうごき 編集後記 P23
報告のページ モデルため池調査の結果報告ほか P14	仲間とともに 伊達方部グラウンド・ゴルフ愛好会 P24
入札結果 P16	



## 6月号の目次

# 特集 地域の除染を加速する 減容化施設の役割と稼働状況

今後の村民の帰村や一時帰宅の準備として、住宅等の「屋内外にある燃えるごみ」や「除染から発生した燃える廃棄物(草、落ち葉、枝葉など)」「解体した建物の廃材」などを焼却して廃棄物量を減らすこと(減容化)は重要です。国は、これらの対応の一つとして、昨年8月から、小宮地区のクリアセンター内に設置した仮設の焼却施設で住宅等の「屋内の燃えるごみ」の焼却処分をしており、今年度も実施をしています。

ごみを焼却し減容化を行う施設はすでに全国に普及しているものですが、放射性物質除去の技術を組み合わせた施設は新しく、国の直轄除染区域では、ここ小宮の仮設焼却施設が最も早く設置されました。先進施設として、多くの市町村や環境団体等が視察に訪れています。



### 減容化とは

焼却などの処理によって廃棄物などの体積を減少させること、つまり量を減らすことを言います。減容化には、焼却の他にも圧縮などいくつかの手法があります。焼却処理による減容化では、処分量を削減すると共に、廃棄物を衛生的に処理し、状態を安定化させることができます。



震災前の村景色から 飯桶小児童による田植え体験のひとつま(平成21年)